

主日礼拝

2023年2月12日
午前10時30分

前奏 「洄れたる谷間に水を求めて」
(S.カクエラート)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

- 「1わたしの魂よ、主をたたえよ。
わたしの内にあるものはこそって
聖なる御名をたたえよ。
2わたしの魂よ、主をたたえよ。
主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。
3主はお前の罪をことごとく赦し
病をすべて癒し
4命を墓から贖い出してください。
慈しみと憐れみの冠を授け
5長らえる限り良いものに満ち足らせ
鷲のような若さを新たにしてください。」
(詩編 103:1~5)

頌栄 26「グロリア」

グロリア グロリア グロリア ちちとみ子に
グロリア グロリア グロリア せいなる霊に

十戒交読

- 司式者 わたしはあなたの神、主であって、あなたを
エジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。
会衆 サント サント サント (讚美 85)
司式者 あなたはわたしのほかに、なにものをも
神としてはならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは自分のために、刻んだ像を造っては
ならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに
唱えてはならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 安息日を覚えて、これを聖とせよ。
会衆 サント サント サント (讚美 85)
司式者 あなたの父と母とを敬え。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは殺してはならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

- 司式者 あなたは姦淫してはならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは盗んではならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは隣人について、偽証してはならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは隣人の家を貪ってはならない。
会衆 サント サント サント (讚美 85)

85 「サントサントサント」

サント サント サント、こころをこめて、さ
San - to, San - to, San - to, i Mi cor - a - zón te a - do ra i Mi
さげよういのり、せいなる主に。
Cor - a - zón te sa - be de - cir: i San - to e - res Señ - or!

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

聖書 ルカによる福音書 5:12~26

新約 (新共同訳) p110~p111

12 イエスがある町におられたとき、そこに、全身重い皮膚病にかかった人がいた。この人はイエスを見てひれ伏し、「主よ、御心ならば、わたしを清くすることがおできになります」と願った。13 イエスが手を差し伸べてその人に触れ、「よろしい。清くなれ」と言われると、たちまち重い皮膚病は去った。14 イエスは厳しくお命じになった。「だれにも話してはいけない。ただ、行って祭司に体を見せ、モーセが定めたとおりに清めの献げ物をし、人々に証明しなさい。」15 しかし、イエスのうわさはますます広まったので、大勢の群衆が、教えを聞いたり病気をいやしていただいたりするために、集まって来た。16 だが、イエスは人里離れた所に退いて祈っておられた。

17 ある日のこと、イエスが教えておられると、ファリサイ派の人々と律法の教師たちがそこに座っていた。この人々は、ガリラヤとユダヤのすべての村、そしてエルサレムから来たのである。主の力が働いて、イエスは病気をいやしておられた。18 すると、男たちが中風を患っている人を床に乗せて運んで来て、家の中に入れてイエスの前に置こうとした。19 しかし、群衆に阻まれて、運び込む方法が見つからなかった。屋根の上で瓦をはがし、人々の真ん中のイエスの前に、病人を床ごとつり降ろした。20 イエスはその人たちの信仰を見て、「人よ、あなたの罪は赦された」と言われた。21 ところが、律法学者たちやファリサイ派の人々はあれこれと考え始めた。「神を冒瀆するこの男は何者だ。ただ神のほか、いったいだれが、罪を赦すことができるだろうか。」22 イエスは、彼らの考えを知って、お答えになった。「何を心の中で考えているのか。23 『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて歩け』と言うのと、どちらが易しいか。24 人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。」そして、中風のの人に、「わたしはあなたに言う。起き上がり、床を担いで家に帰りなさい」と言われた。25 その人はすぐさま皆の前で立ち上がり、寝ていた台を取り上げ、神を賛美しながら家に帰って行った。26 人々は皆大変驚き、神を賛美し始めた。そして、恐れに打たれて、「今日、驚くべきことを見た」と言った。

賛美 132(1,3,5) 「涸れた谷間に野の鹿が」

版：改訂委員会、1995 ST. IGNATIUS 曲：Joseph Barnby, 1838-1896

① かれた谷間に野の鹿が 水が ② かわき苦しむ わが魂 ③ 命の神を ただ、したう。 ④ そびゆる山の 高峰より ⑤ わが魂よ、なぜうめき 思い乱れて うなだれる。 信じてあおげ 主のみ顔、 「主こそ わが岩、わが救い」。

- ① 涸れた谷間に 野の鹿が
水を求めて あえぐよう
かわき苦しむ わが魂
命の神を ただ、したう。
- ② み顔をあおぐ 日はいつか。
人は ののしり われに問う、
「どこにおまえの神はいる」。
涙ばかりが 日々の糧。
- ③ 思い起こせよ、わが魂。
祭りに集う 人の群れ。
喜び歌い 感謝して
主の家に行き 伏した日を。
- ④ そびゆる山の 高峰より
激しく落ちる 大滝は
淵にとどろき、砕け散り、
うなだれる身を 超えてゆく。
- ⑤ わが魂よ、なぜうめき
思い乱れて うなだれる。
信じてあおげ 主のみ顔、
「主こそ わが岩、わが救い」。

説教 「赦され生きる者となる」

賛美 432 「重荷を負う者」

I heard the voice of Jesus say
聖：Hrastus Bonar, 1808-1889 曲：イザリス侯統監作 KINGSFOLD

1 「お—もにを おうもの、ま—ようも—のよ、
2 「か—わいてい るもの、つ—かれた—もの、
3 「こ—の世のつ とめにな—やむも—のよ、
だ—れでも き なさ—い、た—めらわ—ず—to、
だ—れでも き なさ—い、た—めらわ—ず—to、
ま—ねきに—した が いわ—たし—はゆ—く、
い—のちの—主 イエ—スに わ—たし—はゆ—く、
ひ—かりの—主 イエ—スに わ—たし—はゆ—く、
な—ぐさめ—to—へい わ—う—けるた—め—to、
生—きたそ—の—み—みずを の—みほ—す—た—め—to、
お—わりま—で—to も に あ—ゆむた—め—to。

- 1 「重荷を負う者、迷う者よ、
誰でも来なさい、ためらわずに。
招きに従い 私は行く。
慰めと平和 受けるために。
- 2 「渴いている者、疲れた者よ、
誰でも来なさい、ためらわずに。
いのちの主イエスに 私は行く。
受けたその水 飲みほすため。
- 3 「この世の務めに、悩む者よ、
誰でも来なさい、ためらわずに。
光の主イエスに 私は行く。
終わりまで共に 歩むために。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「我、心より喜び」 (J.グラム入)

司式 要田 悟史
説教 向井 希夫牧師
奏楽 玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。